

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩川の里身体障害者福祉会館	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 長谷川 忠司 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課

2. 事業実績

利用実績	[講習会・ボランティア育成事業] ・手話入門講習会(夜間):全8回 87名 ・手話入門講習会(昼間):全8回 156名 ・小学生のための福祉交流学習:連続3日間 57名 [作業室] ・在籍数:生活介護 27名 (前年度からの増減なし) ・食事提供件数:4,092件・入浴サービス:544件		・要約筆記入門講習会:全8回 97名 ・音声訳(朗読)入門講習会:全5回 111名 ・点字ボランティア入門講習会:全5回 19名																																					
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館 (円)</th> <th colspan="2">障害者福祉サービス (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>29,321,204</td> <td>収入</td> <td>110,663,358</td> </tr> <tr> <td> 委託料他</td> <td>29,147,000</td> <td> 利用料他</td> <td>109,574,358</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>174,204</td> <td> その他</td> <td>1,089,000</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>29,036,245</td> <td>支出</td> <td>68,865,206</td> </tr> <tr> <td> 人件費</td> <td>21,978,467</td> <td> 人件費</td> <td>55,323,665</td> </tr> <tr> <td> 事務費</td> <td>7,050,637</td> <td> 事務費</td> <td>7,203,579</td> </tr> <tr> <td> 事業費</td> <td>7,141</td> <td> 事業費</td> <td>6,337,962</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td>284,959</td> <td>差額</td> <td>41,798,152</td> </tr> </tbody> </table>		身障会館 (円)		障害者福祉サービス (円)		収入	29,321,204	収入	110,663,358	委託料他	29,147,000	利用料他	109,574,358	その他	174,204	その他	1,089,000	支出	29,036,245	支出	68,865,206	人件費	21,978,467	人件費	55,323,665	事務費	7,050,637	事務費	7,203,579	事業費	7,141	事業費	6,337,962	差額	284,959	差額	41,798,152		
身障会館 (円)		障害者福祉サービス (円)																																						
収入	29,321,204	収入	110,663,358																																					
委託料他	29,147,000	利用料他	109,574,358																																					
その他	174,204	その他	1,089,000																																					
支出	29,036,245	支出	68,865,206																																					
人件費	21,978,467	人件費	55,323,665																																					
事務費	7,050,637	事務費	7,203,579																																					
事業費	7,141	事業費	6,337,962																																					
差額	284,959	差額	41,798,152																																					
サービス向上の取組	・利用団体とコミュニケーションをとり、利用団体から要望、意見等を言いやすい環境を整えた。 ・個別支援計画についてのモニタリングでサービス内容の再確認を行った。また、各プログラムの実施後内容の精査を行うことで次のプログラム作成へつなげた。																																							

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・会館運営業務については各種講習会を開催し、仕様書に沿った安定した運営を行っている。また、生活介護については、在籍者数も安定しており、利用者のニーズをふまえたサービスを展開し、概ね良好な管理運営がなされている。 ・各種講座の受講生に対し、ボランティアサークルを紹介するなど、講習終了後のボランティアの参加促進に寄与しているほか、近隣の小学生に対して福祉への関心を持ってもらえるよう工夫を凝らしている。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・概ね良好な収支状況である。また、会計手続についても、会計事務所による外部監査を受けるなど、適正に行われている。 ・法人内監事監査を受けており、指摘事項はなかった。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・仕様書に沿った運営が行われている。利用者への満足度調査は、作業室の利用者全員へ実施し、意見・要望を収集している。 ・利用者の嚥下状態に合わせた給食サービスの提供により食べることの楽しみを損なわないよう工夫や、送迎車を十分確保することにより利用者の送迎時間を短縮させるなど、サービス向上への取組みがなされている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の基準を満たす職員配置を行っている。職員向けの各種研修に積極的に参加し、担当者のスキルアップが図られている。 ・重度心身障害者の利用が多いため、職員が利用者を介護する際は、移乗用の福祉機器を使用することで腰痛等の防止に努めており、職員の労働意欲を損なわないよう配慮がなされている。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に沿った施設管理が行われている。個人情報の取扱いに配慮し、適正に管理している。 					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・指定管理者期間の2期目3年目として、利用者・利用団体等との関係も確立し、安定した運営が行われている。
- ・生活介護では、昨年度に引き続き、一定の利用者数を確保し、重度の心身障害のある利用者が多いなか、個々の状況に応じたサービスや施設の環境を整えているほか、事故や虐待防止に向けた研修など、職員の資質向上に対する取組みがなされており、評価できる。
- ・利用者や家族の意見を踏まえ、新たに行事を企画するなど、利用者の障害特性に配慮した社会参加促進への取組みがなされている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・地域の施設として、地域及び市民のニーズを反映させた各種事業を展開し、利用者一人ひとりの要望や意向を尊重することで、魅力ある施設運営に努め、会館利用者の増加を図ること。
- ・利用者満足度調査については、今後も調査事項の設問内容や集約方法などを工夫・検証しながら継続していくこと。また、利用者・家族からの意見・要望が活発に出せるような環境づくりを更に進めていくこと。
- ・施設の適正な維持管理のため、定期的な点検を行い、軽易な修繕や備品の購入を計画的に行うこと。